

即ち市会は資本家階級の公店であり、その資本家階級の出店たる市会に於て市長助役市役等の理事者は司配せらるるものである。而して市会議員は悉くブルジョア政黨の手先であり、故に企業会社の個人資本家の手先として働いてゐるのである。

斯くして資本家階級は市役所の自治体の後面の下に直接市理事者をして経済的搾取への労働條件の低下、減首、政治的強圧を加へる事に依つて、巧みに資本家の搾取をかかさんとしてゐる。

斯くの如き市役所との闘争は、それが経済的要求による闘争にして、直接に政治闘争に移されるものである。市従業員は経済闘争は必然に政治的強圧に直面する。茲に一般工場労働者と異つた特殊条件を見出し得るのである。即ち資本家階級の政治的天配が労働の搾取の最高の組織であり、故に市従業員の経済闘争は部分的にせよ、資本家階級との政治闘争は絶対に避け難いものであることをハッキリと見る事が出来る。

而して現理事者西久保市長は、露骨に資本家階級の利益を擁護すると共に一方反動的恐怖政策を以つて四方の市従業員を威嚇し、約一千余名の市従業員の不誠意を断行し、現任市長を数名案の減首が断行されつゝ、ある。我々市従業員は斯る状態に直面して従つて彼々の特定の条件を考慮し、日常の闘争を次の如く決定せんとするものである。

一、全市従業員の政治闘争の確立
我々市従業員は、資本家の出店たる市会に對して闘争するに對し、我々の最も必要とし、又た最も強力なる武器は、全東京市従業員の政

同戦線の確立である。現任水道局従業員は我々の要求する特別給付規程及び我々を酷使する痛賃規程に於て同一の利益關係を有するものである。更に電氣局従業員は昨年拾貳月の争議鮮結に際しその要求を撤回し、日給制の確立、健康保険其の他等々に對して常に反動市長の強圧に反抗せんとしつゝあるのである。

斯くの如く反動市長の強圧に居るとは我々は唯に我々市従業員組合のみならず、全市従業員は等しく此の反動政策に依つて一切の利益を蹂躪され奪取されてゐるのである。
故に我々市従業員組合は此の運動を喫期として、全市従業員の鞏固なる共同戦線を張らねばならぬ。その為めに我々は全市従業員各団体に對して共同委員会の設置を提議し、その確立に向つて全力を挙げて努力し、おけねばならぬ。

斯くて我々は東京市に對し眞実に闘争を導き得るのである。
二、全市労働者農民階級との共同戦線の確立
我々は更に此の闘争をして眞実に勝利に導くためには全市労働階級の鞏固なる共同戦線、即ち全国的に集中された統聯合の指導を總体に必要とする。而して全國統聯合の実現せざる今日に於ては、その統聯合の準備体としての、統一運動同盟との鞏固なる共同戦線、緊密なる提携を圖らねばならぬ。

三、市民との共同戦線の確立
我々市従業員は、東京市二百五十万市民と共に我々の運動が